

鹿児島相互信用金庫の環境への取組みについて

鹿児島相互信用金庫は、郷土の豊かな自然環境の保全に努め、これらを将来の世代により良く引き継いでいく社会的責任があると認識し、積極的に環境問題に取り組んでいます。

【地球に優しい設備が満載】

設立80周年を機に、平成23年に新築した本部ビルは、金庫業務の拡大及び耐震対策、未来へ向けた本部機能の充実を目的とし、環境に最大限の配慮をしたビルとなっています。

- 発電容量40kw/h、年間発電量40千kw/hの太陽光パネルを屋上に設置。晴天時、館内照明を賄うのに十分な発電量です。
- 氷蓄熱空調設備を採用。夜間の電力を利用して氷を作り、昼間の空調(約8時間分)に利用し、消費電力の削減を図っています。
- 駐車場の遮熱塗装と一部緑化により、アスファルト舗装に比べ、最大12℃程度の表面温度引き下げ効果があります。



【営業活動における環境負荷の低減】

- エコ素材(森林認証用紙・リサイクルペーパー)および環境に配慮した植物油インキを使用する預金通帳・証書を発行しています。
- ハイブリッドカーをはじめとする環境対応車のほか、既存店舗のLED照明への切り替えを積極的に推進しています。
- 原良支店(鹿児島市城西三丁目)にて、太陽光発電パネルや省電力のLED屋外灯を設置、地表温度上昇を防ぐインターロッキング仕様駐車場を導入しています。
- 平成27年1月に新築移転した大崎支店(曾於郡大崎町)にて、太陽光発電パネル設置のほか、地熱空調システムを導入しました。年間を通じてほぼ一定といわれる地中熱を利用した空調設備により、環境にやさしい取組みを行っています。



【金融業務を通じた地域の環境保全活動支援】

「エコローン」

省エネ家電購入を目的とした「エコローン」、環境対応自動車の購入を目的とした「エコカーライフプラン」、また環境にやさしいリフォームを目的とした「エコリフォームローン」、太陽光発電設置のための「太陽光発電事業者ローン」を発売しております。

【ペットボトルキャップ回収運動の実施】

ペットボトルキャップを回収し再資源化することで、焼却処分に伴うCO₂の発生を抑制しています。また、「NPO法人世界の子供たちにワクチンを日本委員会」を通じ、再資源化で得た資金で世界の子供たちにワクチンを寄贈しています。

平成30年9月末現在で653万個を回収しました。